



(令和五年三月撮影)

春到来

コロナ禍と言われて4回目の桜の季節がやってきました。今年もはなさかの桜たちは変わらさず競うように花を開き、満開となりました。コロナは下火傾向と言われておりますが、引き続き気を緩めることなく、ご利用者の安全と安心を第一に、ご家族様の期待と地域の要望にお応えするよう努力を続けて参りますのでご指導、ご協力をお願い申し上げます。

はなさかさかす

社会福祉法人報徳会
広報紙(季刊)
令和5年春号
発行責任者
理事長 内田善久



久しぶりに屋外の風を感じて皆さんの笑顔も満開でした。来年は遠出が出来るといいね



2023
お花見



「今やかの三つのベースに人満ちて―子規とWBC」

社会福祉法人報徳会理事 岩壁 清吉



《久方のアメリカ人(むぎ)のはじめに》

ベースボールは見れど飽かぬかも 正岡子規 《》

球春謳歌。国を挙げて喝采、歓喜で見たWBCの頂点の景色。

幼名の升(のぼる)をもじって「野球」(ぼる)と名乗った野球少年正岡

子規の夢が二三〇余年の時を超え、結び叶った一時でもあった。

如上を始め一八九八明治三二〇年作の連作九首。《国人(むぎ)と

外国人(むぎ)と》とうちきそふベースボールを見ればゆゆしも》と不

穏なほどの殺気が漲りワクワクドキドキするなあと詠み込む。

《九つの人九つの場をしめてベースボールの始まりんとす》

正岡少年は捕手。言葉を受け捕る今。罹災者である佐々木朗希

が先発の日、甲斐拓也の声出し。「東日本大震災から一二年たった

今日。沢山の人が僕達の野球を見てくれます。嶋基宏さんが

このような言葉を言っていました。「誰かのために頑張る人間は強

い」と。全力でプレーする中で、失敗も起こるかもしれませんが、全

員でカバールし合って助け合って戦い抜きましょう。」に、「いいこと言

うわあ」と大谷翔平が、合いの手。アメリカとの決勝戦、「憧れるの

をやめましょう」の鼓舞で夢の脚本が校了。大団円の結末、見事。

因みに横浜の近藤健介、九州学院の村上宗隆も、高校では捕手の縁。

「九つの場」で一つだけマスク越しに向き合う立場は、観客と同じ。

《夏草やベースボールの人遠し 正岡子規 《》

ベースボールに打ち込んだ語り章。投手・捕手・直球・飛球等の訳

語を遺した子規は、新聞記者を基点に文学史上、近代俳句・短歌の革

新に貢献、二刀流の銘。従軍記者の途次、略血。歩行不能に陥る中、

「人遠し」と遠望するしかない我が身。しかしバットはペンになる。

栗山英樹演出、望み得る至高の『侍ジャパン劇場』を観客の一人と

として正岡子規に馳せて見た喜び、これに勝るものはない。謝辞。

《今やかの三つのベースに人満ちてそぞろに胸のうちさわぐかな》

面会室をご利用下さい!



5月からコロナ感染症の感染症法上の分類が変わりますが、はなさかでは引き続き館内での面会を制限して参ります。ご面会は空調が完備された専用のお部屋を用意しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

※利用には予約が必要です。当日予約OKですが必ず事前にご連絡をお願い致します

祝ご長寿



鏡モモ工様 108歳

はなさか最高齢の鏡モモ工様は、本年4月で108歳。毎日お食事をしっかりと召し上がられ、ますますお元気にお過ごしです。

巡回 さくらカフェ



白井店長と愉快的なスタッフが美味しいコーヒーをお持ちします!

1階「さくらカフェ」がユニットを巡回訪問してコーヒーやジュースなどの提供をしています。楽しく美味しく水分補給



PFAS検査

昨今、社会問題として報道されはじめているPFAS（有機フッ素化合物）について、はなさかでは行政報告の水質検査以外に、2021年12月に登録検査機関にて井戸水の水質検査を実施し、国の安全基準の15分の1以下の検査結果を得ております。在日米軍基地周辺などの地下水で高濃度化が問題となっておりますので、今後とも厳格に安全確認を行って参ります。

スタッフ紹介



ショートステイ明日ユニット長江直人リーダー。いつも明るく元気に頑張っています!

ありがとう。さくら保育室



開所から113名の子供達をお世話した『さくら保育室』が3月末日で休園となりました。先生方の家庭的な愛情保育で、みんな良い子に育ちました。



祝卒業

ネパールからの留学生3名が、日本語学校2年と介護専門学校2年の4年間を修了しました。2名が介護福祉士試験に合格し、全員ははなさかで介護職員として働きます。



はなさか農園 2023

土を反して作付けの準備に入りました。今年もオクラやサツマイモ、里芋を予定しています。耕運機で土の手入れをしていると鳥が虫を啄みにやってきます。